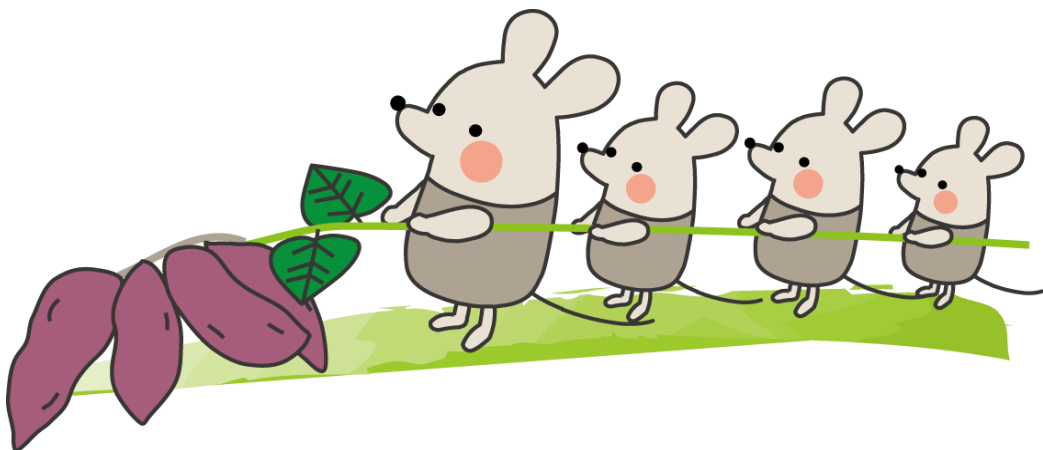


# 市民と市長の対話集会

## 第86回

### タウンミーティング記録集



平成26年12月13日(土曜日)

会 場 秋水園ふれあいセンター

時 間 午前10時～正午

東村山市

## ○開催内容

平成26年12月13日（土）午前10時、秋水園ふれあいセンターにおきまして「タウンミーティング」を開催しました。19名の方にご参加いただき、ご意見をうかがいました。

## ●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち16枚を回収しました。

### ・アンケート回答者の住所地

秋津町	11人
その他市内	4人
未記入	1人
合計	16人

### ・年齢

30代以下	1人
40代	0人
50代	0人
60代	6人
70代	5人
80代以上	1人
未記入	3人
合計	16人

### ・性別

男性	8人
女性	6人
未記入	2人
合計	16人

## ○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成27年2月22日（日）	廻田公民館	午前10時～正午
平成27年3月14日（土）	萩山公民館	午前10時～正午

# タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

## 【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。東村山市長の渡部尚でございます。

年の瀬を迎えて何かと気忙しい中にも関わらず、今年最後の市民の皆さんと私の対話集会にこのように多くの皆様にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。また、司会を務めていただきますＴさんにも御礼申し上げたいと思います。ありがとうございます。

この通称タウンミーティングとっております市民の皆さんとの対話集会は平成19年の10月に第1回目を行わせていただきまして、その記念すべき第1回目はこの秋水園ふれあいセンターで行わせていただいたのですが、その時はこの会場に入りきれないくらい大勢の方においでいただいて、様々な厳しいご意見も含めていろいろなご意見をいただいたところでございます。

その後、回を重ねて今回で86回ということで、私にとりましてはそれぞれの地域の様々な声を生で聞かせていただく貴重な場になっておりますし、市民の皆さんからいただいたご意見で、その後、政策・施策として取り入れさせていただいて実現したものもございます。

第1回目の秋水園ふれあいセンターでいただいたご意見で印象深かったのは、秋津駅と新秋津駅間をくわえたばこで歩いている人が多くて危険である、あるいは副流煙の問題等のご指摘があって、そういったものを取り締まる条例をつくって欲しい、というご意見をいただきました。その後、庁内で検討しまして「東村山市路上喫煙等の防止に関する条例」を制定させていただきまして、秋津駅・新秋津駅間についても喫煙禁止区域ということで、決められた場所でのみたばこを吸っていただくようにしました。その後、設置していた喫煙所も周辺の自治会等からいろいろとご意見いただいて、今、完全撤去というかたちにさせていただいたところでございます。

秋津町では沢の堀についてご指摘をいただいたり、いろいろなことがございましたけれども、一つひとつお応えできる点については我々としても対応してきたつもりでございます。今日は久しぶりの秋津町開催ですので、またいろいろな声を聞かせていただいて、より良い東村山、より良い秋津町のまちづくりに資するように対応させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

## 【会場でのご意見】

～みんなが快適に暮らせる、活力と魅力にあふれたまち～ について

### ◆秋津町地域の道路整備について（その1）

（秋津町 Kさん）

秋津中通りにある秋津町4丁目第1仲よし広場の西側の「五月会」という自治会に入るところに側溝をつくることと、段差をなくして欲しいということを何回かお願いしているが、「検討する」ということでちゃんとした返事をもらえていない。市長はご存知か。段差そのものは少ないが、少ないがゆえに自転車で転ぶことが何度もあるし、車椅子の方も通れない。側溝も水が流れないので、きちんと造ってほしい。それと、車椅子を利用している人がスムーズに通れるように、スロープにして欲しい。

◎ 市長回答 ◎

大変申し訳ございませんが、ちょっと状況を承知しておりませんので、現場を確認させていただいてどういう対応をすべきなのか、危険のないように対応が取ればというふうに考えております。

ご指摘の箇所だったか、なかよし広場の東側の通りだったか、私も記憶が曖昧なのですけれども、雨水が秋津中通りからそちらのほうに流れやすいという話は聞いたことがありますけれども、一度、私も実際に場所を確認させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

◎ 道路管理課より ◎

市内の市道と私道との接続部においては、雨水の流入を防ぐ為、5 cm程度のL型側溝にて段差を設け雨水が適切に排水できるような構造としています。過去、この場所においては、大雨時に市道上から私道に雨水が流入し、浸水被害が発生したこともあったとお聞きしており、現在の状態が一定程度、適切な状況であると考えています。なお、代表者様には、これまでも十分説明をさせていただき、理解していただいているものと考えております。

### ◆秋津町地域の道路整備について（その2）

（秋津町 Mさん）

秋水園周辺から秋津神社のほうに行く道が道路から坂になる。両脇に側溝はあるが、水が側溝に入らないで上から直接道路に流れてくる。これから大雨が降るとかなり溢れる可能性がある。その辺を確認していただきたい。

◎ 市長回答 ◎

秋津は比較的起伏が多いところで、私も直接的にも間接的にも何度か道路を伝って下のほうに水が流れてくる地域を何とかして欲しいということをお言われたり、地元の議員さんからも言われたりとい

うことがありましたので、確認させていただいて、改善できるようであれば何らかの対応を取らせていただきたいというふうに思います。

◎ 道路管理課より ◎

秋津周辺においては、大雨時にはパトロールを行っております。現状といたしましては、希望者には土嚢を配布させていただき、水害対策を行っているところでございます。

### ◆秋津町地域の道路整備について（その3）

（秋津町 Nさん）

旧所沢街道から入ってくる竹藪のところ広がりが、とても便利になった。これで救急も安心だが、入ってくる車が結構スピードを出してくる。懸念していたことだが、昨日、自転車で出る時にぶつかりそうになった。角にミラーをつけてもらえたらありがたい。

◎ 市長回答 ◎

竹藪のところ（秋津町3丁目28番地付近）の道が広がって武内稲荷のほうに向かって車が結構、入ってくるようになってしまったということでしょうか。

今まで車が通り抜けできなかったので入ってくるのは仕方ないが、もっとスピードを落として入ってきてくれればいい。カーブミラーの数が少ないので増やして欲しい。

（秋津町 Nさん）

◎ 市長回答 ◎

長年、懸案でありました旧所沢街道から武内稲荷のほうに向かって入ってくる通りの一部が竹藪で非常に狭くて、緊急時に救急車や消防車が入れないということで、昨年、地権者の方のご理解をいただいて道路を拡幅したのですが、逆に拡幅したかゆえにスピードを出して入ってくるというご指摘です。「危険なのでカーブミラーを設置して欲しい」ということなので、現場を確認させていただいて、検討させていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

◎ 道路管理課より ◎

道路拡幅に伴い、警察による一時停止の規制や白線の施工を行っており、現状行える、安全対策は行っております。ミラー設置は、現状、道路幅員が狭く、適切な設置場所がございません。引き続きどのような安全対策が行えるのか、検討してまいりたいと考えております。



## ◆積雪時の雪掻き対応について

(秋津町 Kさん)

明日、選挙がある。東京都知事選挙の時、大雪が降ったが、秋津中通りから小学校に入る道を誰も雪掻きしてくれなくて、選挙に行けなかった人もいた。もしまた雪が降るようなことがあったら誰かやるようになるのか。

### ◎ 市長回答 ◎

今年の2月に行われた都知事選挙は、前日に大雪が降りまして、大変ご迷惑をおかけしたところでございます。当市の場合はだいたい学校が投票所になっているところが多いのですが、例えば校門から投票場所になっている体育館までまず道をつくって、その後、できるだけ学校の周辺についても雪掻きをするように、ということで対応させていただいたところでございますが、全ての道を職員だけで雪掻きをするというのはなかなか難しいところがあって、恐らくそういう対応が取れなかった部分があったのかなと思っております。

市としましては、今年は二度に亘りまして大雪があった関係で、あれだけの量が降ると人力だけではなかなか厳しいところがありますので、今後は市内の土木や建築をされている業者さんと何らかの協定を結んで、人が多く集まる場所、あるいは選挙のようなことがあれば投票所周辺の雪掻きを迅速に行えるような体制を取っていきたいというふうに考えております。

### ◎ 道路管理課より ◎

これまでの積雪時には、道路管理を所管するまちづくり部職員により、駅前広場の歩道や凍結しやすい橋上の除雪を行ってきましたが、平成26年2月の大雪時には市職員だけでの対応に限界がございました。

こうしたことから今後の除雪体制を再構築し、平成26年12月には、東村山市建設業協会、東村山市管工事組合、東村山市電設協会、東村山市緑化組合の各団体と東村山市の5者により、市道・駅前広場等公共施設の除雪、倒木処理、停電対応等に対し、早期復旧と市民の安全を確保することを目的とする「大雪時の緊急対応業務に関する協定」を締結いたしました。

なお、市が行う道路の除雪は、多くの方々が利用する駅前広場や主要道路を想定しており、住宅地内の生活道路については、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

## ◆秋津駅周辺のまちづくりについて

(秋津町 Mさん)

秋津駅と新秋津駅間の道路が非常に混雑している。市の範疇かどうかかわからないが、後ろのほうから出入りができるような改札ができないか。それと右側通行と左側通行がバラバラ。お年寄りの方も含めて反対側にくるので、すれ違う時にちょっとしたことで問題が起こるのではないかと。左右の歩行をきちんとすると流れが良くなるのではないかと。その辺を徹底できれば日本人の美德になるのではないかと。

### ◎ 市長回答 ◎

秋津駅は市内で一番、乗降客数が多い駅です。市民の利用というよりは、秋津駅と新秋津駅の乗換のために非常に多いということで、恐らく今1日の乗降客数が7万人を超えていて、朝夕ものすごく

混雑する状況がございます。

抜本的な解決としては秋津駅前南口をこれからどうかたちで整備するかということがありますが、都市計画はそこに広場をつくるというようなことが位置付けられていて、その広場をつくる場合に秋津駅と新秋津駅の動線をうまく考えていくということが根本的な解決の方法なんだろうと思います。地元の方がまちづくり研究会をつくっていろいろな研究はされておりますが、実際問題としていつまでにどうかたちでやるかというのは具体的にはまだ見えていないのが実情でございます。そうしますと当面は現在の道路状況の中で、安全対策をどうするか動線がきちんと確保できるのかということを考える必要があると思いますので、警察等とも協議をして右側通行を徹底するだとか、いろいろ課題があると思いますので、そこは今後、検討させていただければと思っております。

#### ◎ まちづくり推進課より ◎

市では、市民の皆様がより快適に暮らせる環境づくりの為に、まちづくりに関する基本的な方針として、都市計画マスタープランを策定し、秋津駅及び新秋津駅周辺を市北東部の中心核に位置付けています。

駅周辺のまちづくりについては、地元の市民の方で構成する「秋津駅南まちづくり推進協議会」において勉強会を開催するなど、まちづくりに関する研究やまちの将来像策定に向けた検討を行っており、その先に、駅前広場等への取り組みがあるものと考えております。

### ◆秋水園周辺にコミュニティバスの路線を

(秋津町 Tさん)

前回のタウンミーティングでもお願いしましたが、秋水園周辺にはふれあいセンターもあるし、保育園もあるので、コミュニティバスを利用したい人が多いと思う。中通りからこちらに入ってくるようなコミュニティバスの路線をつくれませんか。

#### ◎ 市長回答 ◎

ご要望にお応えしたいところではありますが、大変申し訳ございませんが、前回と同様のご回答になってしまいます。

基本的に定時定路線バスというのは国土交通省で許可を得ないと運行できないのですが、すれ違うことのできる幅員が確保されている道路でないと認めてもらえないということになっています。中通りからこちらに入ってくるとなると、秋津新道の新聞販売店のところの通りになりますが、幅員が足りないの、なかなか難しいというのが現状です。

あと考えられるとすると、旧所沢街道の秋水園西の交差点から秋津新道に入れて、またそこを通過ということですが、運行時間がかかるということで、現在の道路形状では秋水園近くあるいはふれあいセンターまでコミュニティバスを通すというのは、かなり難しい状況になっています。

以前からそういったご要望をいただいたり、六中のPTAの保護者の方からは「通学路となっている道路が危ないので広げて欲しい」とご要望をいただいております。市としても、一度、秋津中通りから志木街道に向かう通りの拡幅をしたいということで、沿道にお住まいの市民の皆様と協議させていただいた経過がございますが、なかなかご理解いただけておりません。ただ、一部、志木街道沿いのファミレスの横の入口のところと、志木街道から武蔵野線の側道のところまでの道を子どもたちが通学時に畑の中を通るということで、バスが入れるほどの広がりには取れませんが、少し道路を拡幅さ

せていただきました。これからも少しずつではございますが、こういったことで市民の皆さんの安全確保に努めていきたいと考えております。

コミュニティバスにつきましては、各町でいろいろとご要望いただいておりますが、東村山市内の道が狭くて、走らせるとなると現実問題として難しいというのが現状です。ですので、定時定路線で運行するバスだけでなく、違う公共交通の手法を考える必要があるかなということで議会でもご指摘いただいておりますので、時間がかかって大変恐縮ですが、そういったことも含めて検討したいと考えております。

#### ◎ 公共交通課より ◎

コミュニティバス路線の運行改善・新規導入については、平成25年3月に策定されたガイドラインに基づき、検討していくこととしています。例えば、「東村山駅東口～多摩北部医療センター～新秋津駅」路線の経路を変更したい場合、地域住民の代表となる地域組織を設立し、その地域組織と市が協働で検討していくこととなります。しかしながら、ご要望いただいた経路は、道路事情からコミュニティバスの運行は難しく、新たな輸送手段を考える必要があり、苦慮しているところでございます。なお、ガイドラインの概要版については、市のホームページからもダウンロードできますし、各公民館・図書館・ふれあいセンター、市役所受付にも配架しておりますので、機会があれば是非ご一読ください。

### ◆市民の話合いに管理職の参加を

(栄町 Hさん)

まちづくり条例や市議会条例ができて良くはなったが、行政と話したいということで部長や課長にお願いしてもなかなか各会合に出てもらえない。行政は市長がトップで部長が掌握されるということだが、部長にお願いしても縦割りで市民の意見の持っていき場所がない。市議会を見てわかったが、窓口は全部民間に委託されている。何が怖くて部長が出てこないのか。「市長への手紙」を出しても各担当部署から返事がくるが、そのことを部長に聞くと「これが市長の答えだ」と言われる。本当に市長の言葉なのか。

#### ◎ 市長回答 ◎

まず先に「市長への手紙」についてご説明したいと思います。「市長への手紙」は恐らく熊本市長時代から始まったかと思うのですが、全国でも早いほうでした。回答しているのが私自身ではないというのは事実でございます、それぞれの担当所管で書いて、それを私が読んで承認すると。書き手は違いますが、手紙は全て読ませていただいておりますし、回答も「この回答では良くないのではないか」と言って書き直させることもございます。市長が読んで返事を書いていると誤解を受けている面もあるようですので、「市長への手紙」という名称もどうなのかなと思うのですが、長年続いてきたものではありますし、市役所全体として回答しているという意味では「市長への手紙」でもいいのかというふうに思います。

それと地域の様々な課題について、担当所管の然るべき責任者である部長や課長の出席がいただけないということかと思えます。内容によってはお邪魔することもありますし、こちらからお願いして参加させていただくケースもございますので、一般論的には申し上げられませんが、具体的に「栄町でこういうことが課題で、行政にもこういうことで知恵を出して欲しい」とお声掛けいただければ、



場合によっては参加するケースもないことはないと思いますので、ルール化とまではいきませんが、市役所の人間に来てもらいたいということがございましたら、お申し付けいただければと思います。私も身一つなのでなかなか皆さんに満足いただける対応を取れているわけではございませんが、私も出ることがないとは言えませんので、この間も例えば「市長と懇談したい」という団体については、できるだけ顔を出させていただくようにしておりますし、今後もその姿勢は変わらないので、秘書課なりにお申し出いただければと思います。

◎ 広報広聴課より ◎

市長への手紙・FAX・Eメールは、市民の皆さんからの市政に対するご提案・ご意見・ご要望などを受け、まちづくりへ反映させていくための制度です。

お寄せいただいた皆さんの声は、広報広聴課で受付後、関係部課に対応・回答を指示します。

「手紙」の回答については、市長が必ず目を通し、市長決裁を受けた後、回答しています。なお、回答にあたっては、具体的な対応について速やかに連絡が取れるように、必ず担当所管課を明記しています。

## ◆市民意見の聴取・反映を

(諏訪町 Aさん)

このタウンミーティングを含め、市長が住民の声を市政に反映していこうという姿勢はわかるが、この間いくつかの点で疑問を感じた。

一つは10月1日から資源物のステーション回収を取りやめて、戸別収集にした。私自身、25年くらい廃棄物資源循環学会に携わっているが、最初に戸別収集にしたのは従来のステーションに出すやり方の時に、ゴミ袋が有料化されるので、勝手にゴミを出されるのを防ぐことが狙いで戸別収集になった経過があった。また、地域の関係が希薄になってきているが、資源物をステーションで出す時に顔を合わせることで地域コミュニティになっていた。ステーション収集を廃止する時に住民の意見を聞くことが必要だったのではないかと。業者が請け負うとコストがかかるが、コスト増をどのようなかたちで見込んだのか議員に質問したら、今年度の予算にも具体的に示されていなかったと聞いた。担当者の頭の中にだけあって、市長も知らないまま物事が進んでいる。賛否がありそうな重要な政策については、市民に聞く市政運営をして欲しい。

もう一つ。無駄使いということで、東京都の事業として約700億円かけて鉄道の高架化をする。その中で、西宿通りの踏切も高架になるが、あの踏切で待ったことがない。本数も少ないし、遮断機があがれば渋滞になることはない。なぜ高架にしなければならないのか。税金の無駄使いではないか。

重要な政策を決める時には、市民からいろいろな意見を聴取することが必要なのではないかと。市長がタウンミーティングを続けている姿勢は評価したいが、全体の市政については市民から意見を聞いて市政に反映して欲しい。

◎ 市長回答 ◎

具体的には2つの問題でご指摘いただきました。

まず、資源物の戸別収集についてですが、リサイクルセンターが問題になってから、この間タウンミーティングでもいろいろとご質問いただきまして、その都度「資源物についても戸別収集にしたい」と申し上げてきたつもりです。というのも、それまでびん・かんはコンテナ回収だったのですが、その場合、コンテナを最大で3泊4日路上に設置しなければならない地域がありまして、市民の方からは「危険だ」というご意見を多数いただけてきました。その対策として、リサイクルセンターの建設と併せて数日間コンテナを設置する状況は改善したいということで議会でもご理解いただき、びん・かん、古紙・古着についても戸別収集に切り替えさせていただいたところでございます。びん・かんを戸別回収に切り替えたコストについては、車両台数を増やすことなく移行することができたと議会でも申し上げたとおりでございます。古紙・古着については、収集業者から「若干、時間をおいて見て欲しい」とお話をいただけていまして、人員等の体制も業者のほうでやっていただけていますので、今後の動向を見て対応していきたいと考えております。

それから高架については、市で特に府中街道と鷹の道の渋滞解消、大踏切の安全対策をして欲しいと長年に亘って西武鉄道にお願いをしてきて、高架しかない。ただ、一定の高さまで上げたものをまた下ろしていかなければいけないので、確かに諏訪町のふるさと歴史館のところの踏切では渋滞はございませんが、上げたものを下ろすのにあそこまで高架にしていけないと円滑に下ろせないと理解しておりまして、そのことによって事業費もかかりますし、市の負担も増えますが、技術的な問題ということです。高架の問題については、特段、市民の皆さんには賛否を取っておりませんが、議会に諮ってきちんと予算を組んできたので、民意を無視して独断で進めてきたものではないということでご理解いただきたいと考えております。今後は、市を東西に大きく分断していた線路が上がることで、東村山駅周辺をどうつなぐか。商店会や地元自治会の皆さんで市民協議会をつくって、高架に併せて東西道路をどの辺につくるか等、いろいろとご意見をいただけていまして、市民参加で策定を進めてきていただいたところでございます。

予算措置も議会に諮らずに資源物の戸別収集開始を10月1日と決めている。せっかくタウンミーティングという広く意見を聞く場がありながら、大きな施策の決定時に市民の声を聞いていない。職員は専門家ではないが、我々のような市民の中にも専門家や経験を持っている人はいるので、そういう市民の声を聞いて市政に反映して欲しい。

(諏訪町 Aさん)

◎ 市長回答 ◎

議会にも図らずというご意見がありましたが、予算は議会でご可決いただかないと執行できないということで、市民の声を聞いていないというわけではないということは、はっきりと申し上げさせていただきます。

リサイクルセンターの建設についても周辺にお住まいの市民の皆さん、あるいは公募した市民の方に入っていて、市民参加の手法を用いながら組み立ててきましたし、資源ごみの収集についても「現状のコンテナ回収をやめたい」ということは様々な場面でずっと申し上げてきました。全ての市民の皆様にご賛否を取ったことはございませんが、市民の方々と意見を交わしながら決めてきた、ということはぜひご理解いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

なぜ3泊4日にしたのか。1泊2日にしたらよかったのではないか。協議もしないで我々には「この地区だけが3泊4日になる」という説明だけだった。市に「こうして欲しい」と言っても「検討します」で返事がない。市民参加のまちづくりを。（秋津町 Sさん）

◎ 市長回答 ◎

3泊4日になった理由は、私も正直わかりません。9月までやっていたコンテナ収集では、金曜にコンテナを設置する町があって、それを月曜に回収するので最長で3泊4日になると。恐らく全町で前日に配って翌日に回収するとなるとコストがかかるという経過があってそうなったのだと思います。資源循環部には「路上に設置することについて警察の許可を取っているのか」という苦情もあって、市としては路上に最長で3泊4日コンテナを置くことは改善したいというのが戸別収集に切り替えさせていただいた大きなポイントでございます。

それからAさんもおっしゃっていましたが、当市が最初にごみを戸別収集にしたのは、有料化に併せてごみの減量化を進めたいということで戸別収集に踏み切ったのですが、資源物についても若干、少なくなっている傾向が見受けられています。これについては今後も徹底したいと考えておりますし、可燃ごみの中には3割程度含まれている紙類も再資源化したいので、これからも市民の皆様をお願いしていきたいと思っております。

確かにステーション方式のほうが地域コミュニティに資する部分もあると思いますが、収集の課題解決を優先させていただいたということです。もし地域コミュニティの推進を、ということであれば、集団資源回収といったかたちでご理解・ご協力いただくのがいいのではないかと考えております。

◎ まちづくり推進課より ◎

西宿通りの踏切は、高架化された鉄道を一定の勾配で地上部分に下ろす必要があるため、構造上、高架になります。

また、「連続立体交差事業」及び「鉄道付属街路事業」は、平成24年10月に都市計画を決定しました。この都市計画は、「素案説明会」及び「案の説明会」を開催するとともに、「案の縦覧」において、市民の皆様から意見をいただき、決定したものです。

◎ 管理課より ◎

びん・かん、有害物の戸別収集にかかる経費への影響としましては、収集車両を平ボディ車からパッカー車に切り替える経費がかかりましたが、収集委託車両自体は増車せず、大きなコスト増を抑えて戸別収集に切り替えることができました。

ごみ・資源物の出し方を変更するにあたっては、平成23年度からの一般廃棄物処理基本計画を策定する際に、市民の皆さんを交えて東村山市のごみ処理に関する意見交換会を開催しました。さらに、その後東村山市廃棄物減量等推進審議会への諮問・答申を経て、市民の皆さんへ意見募集も行いました。

また、変更直前の8月～9月にかけては、市内28か所で合計88回の市民向け説明会を開催し、市報やごみ見聞録、ホームページ以外の手段においても丁寧に、ごみ・資源物の出し方の変更を進めさせていただいたところでございます。

## ◆議会について

(秋津町 Gさん)

市民が15万人で市議会議員の数が25人というのは多すぎるのではないかと。地域からもいろいろな意見が出ていて、人数が多すぎるとか、適正なことをやっていないのではないかと、という話もたくさん聞く。そういったことも含めて市長さんの課題ではないかと、ぜひ考えていただきたい。

### ◎ 市長回答 ◎

市議会の定員数、それから市議会議員さんの活動については、大変恐縮ですが私のほうから申し上げる立場にはございません。市議会議員さんの数は25人ですが、市長・市議会というはお互いに同等の立場ですので、議会の人数についてはやはり最終的に議会で市民の声をお聞きいただきながら決定していただくしかないのかな、というふうに思います。

各議員さんが活動されていることについても、いわゆる二代表制という立場からすると、私から言及する立場にないのかなと思います。議員さんはあくまでも市民の皆さんの代表として政策提言をする。あるいは市長を監視・チェックして、市長が間違った方向にいかうとすればそれを止めたり、市長がやるべきことをやっていないとすればきちんとやりなさいということをご提案いただく。そういう重要な役割を持っていただいているというふうに考えておりますので、逆に私のほうから市議会に対して「ああしろ」「こうしろ」というのはちょっと違うのかなというふうに思っております。大変申し訳ございません。

## ◆タウンミーティングについて

(美住町 Tさん)

何回かタウンミーティングに出ているが、非生産的というか、民間企業の立場からみるとちょっと異常なかたちになっていると感じる。理由としては、

1点目としてテーマや仮説がないということが問題。

2点目はストーリーがない。ストーリーというのはここで出た回答が今後、例えば議会等にどうかたちで流れていくか、というストーリーがない。

3点目はせっかく人が集まって話しているのに、答えが出ていない。

4点目は司会の方の進め方として、民間企業のファシリテーターの方たちと比べてスキルの部分で差が多いので、あまりにも細かい話がずっと続いたりして非効率になっている部分があるので、もう少し経験者の方を入れるとか改善の余地があるかと思う。

5点目は質問者・回答者ともに話が長いので、質問は1分以内、回答は3分以内ということで時間を徹底したほうが良い。

課題としては5つあるので、そこを改善すればもっと生産的なタウンミーティングになるかと思う。これは質問ではなく提案なので、ご検討いただければと思う。

### ◎ 市民協働課より ◎

ご意見として承りました。今後の参考とさせていただきます。

## ◆市の入札制度について

(秋津町 Gさん)

秋水園の管理棟は、建設業者の経営破たんまで建設がストップしてしまっただけでなく、受注する業者の能力をもう少し考えた上で入札決定したほうがいいのではないか。今回の件も「危ないのではないか」という噂があった。入札制度について1億円以上のものであれば業者の資質・能力も調べた上で、安かろうというのではないのではないか。

### ◎ 市長回答 ◎

秋水園に関しましては大変ご迷惑をかけておりますが、先日ようやくリサイクルセンター管理棟の再入札を行いまして、業者が決定いたしました。今後、既存施設の解体撤去工事やプールの改修工事等、年末から来年3月くらいにかけて秋水園の中で3つの工事が同時に行われますので、安全管理を徹底しながらできるだけ周辺の皆さんにご迷惑をおかけしないかたちで進めていきたいと考えております。

今、Gさんからは「最初にとった業者は危ないという噂があった」ということですが、私どもにはそういう情報は全くなくて、前年は市内の学校の外壁改修の工事を請け負ってきちんとやったところだったので、特段問題はないのではないかと考えておりました。

基本的には各市ごとに経営審査をやっているのではなくて、電子入札と一緒にやっている自治体の管理士さんが会社の経営内容等について一定の審査をして、大丈夫なところを登録して応札を認めているというような状態です。私どももはっきり言ってこんなに短期間のうちに請け負った会社が破たんしてしまうというのは予想できなかったということで、大変ご迷惑をおかけしました。

個々の請負業者の経営状態をつぶさに把握するというのは、いちいち興信所を雇って調べるわけにもいかないので、今後どうしようかというのは課題になっていますし、議会からも厳しくご指導いただいている点でございます。

安ければいいということではもちろんありません。市としては国や東京都が示している基準の単価を用いて積算して予定価格を決めていくわけなんですけど、ここ1年ぐらいの間ですけれども震災復興の関係や東京オリンピックが開催される等々で、大型の公共事業が全国的に目白押しの状態になっているようで、それに伴って建設にかかる金額がかなり上がっています。特に工事に従事する方の工賃が短期間のうちに上がってまいりまして、それが標準価格に反映されていなかったり、ここで円安の影響もあって資材等もかなり高騰しています。それが国や東京都の示している基準単価に反映できていないところがあって、それで近年、当市の予定価格ではなかなか応札に応じただけでないケースが増えてきているのも事実です。これは今後の課題として、最新の標準単価を使うのはもちろんなんですけれども、単に安ければいいというふうには考えておりません。適正な価格で請け負っていただくために、現況の物価の推移を見守っていききたいと考えております。

### ◎ 施設課より ◎

秋水園管理棟建設工事につきましては、平成26年11月26日に新たな業者と契約締結を行い、平成27年7月の完成を目指して工事が再開いたしました。

今後、秋水園内では、既存施設の解体撤去工事やプール改修工事が同時進行する予定です。これらの工事は、通常のごみ処理を行いながら進めて行くこととなりますが、工事車両の通行や工事現場周辺の安全に十分注意し、周辺や園内の安全確保に努め、竣工を目指してまいります。

◎ 契約課より ◎

公共工事を直接請け負おうとする建設業者は、建設業法に基づき経営事項審査を受ける必要があります。この審査は、専門の分析機関及び国・都道府県が行っており、経営規模、経営状況、技術力その他の事項により総合評定値を算出しています。そして、国・自治体の契約部署では、工事規模等に応じた適格業者が受注できるよう、入札参加資格登録の際、建設業者の格付けに総合評定値を利用しているところです。

このように、経営事項審査は、倒産を予測するために設けられた制度でないため、これをもって工事途中での請負業者の倒産を確実に回避することはできません。

本件以降、条件付き一般競争入札等の入札公告に会社更生法の更生手続開始の申立てをしたとき、民事再生法の再生手続開始の申立てをしたとき等経営不振の状態にないことを要件に加えることといたしましたが、それでも倒産を防ぐことはできない状況にあります。

なお、市は、都内区市町村等で構成する東京電子自治体共同運営に参加し電子入札を行っておりますが、入札参加資格登録の審査は参加団体の輪番により行っているところです。これにより、建設業者は、1団体に申請することで、登録を希望する複数の団体に自動的に登録される仕組み（システム）になっております。この共同運営のシステムにおいても、経営事項審査の総合評定値を基に建設業者の格付けを行っているところです。

◎ 営繕課より ◎

公共工事は、適正な価格で発注する必要があり、各市、同じ基準の元に最新の単価を用いて、積算を行っております。しかしながら、最近では不調となるケースが増加傾向にあり、その原因としては、金額の乖離だけではなく、技術者不足、発注時期などが影響しているようです。今後も近隣市の動向を注視しながら、適正に積算を行ってまいります。

---

---

～みんなでつくる安全・安心とうるおいを実感できるまち～ について

---

---

◆防犯に必要な情報の提供を

(秋津町 Mさん)

この辺は安全なところに入っているが、他所の町で泥棒が多く入るということで、警察にどの辺でそういう被害があるのかと聞いたら、プライバシーだからしゃべれないと言われた。それでは防犯も何もできないということで何回も聞いたが、個人宅が特定されてしまうのでしゃべれないということだった。そうすると我々は何も活動することができないし、注意することもできない。その辺のプライバシーというのがどうなのか非常に疑問に思った。市長のご見解を伺いたい。

◎ 市長回答 ◎

警察のほうがどういうご配慮をされたのかよくわからないのですが、私自身はこの町かぐらいなら特に問題があるとは思いません。なぜそういうご配慮をされたのか私もちょっとわかりかねますが、町ぐらいの話であれば個人を特定できるとは思えないので、その程度の情報は流していただかないと逆に対応を取りづらいのではないかなと私は思います。

今、東村山警察署管内では、振り込め詐欺の被害額が全国で3位になっているということなので、

市としてもどの辺に集中的に電話がかかってきているか、という情報をいただけたらできるだけ市民の皆様にもいろいろな場面でお知らせをして、例えば「秋津町4丁目周辺で不審電話がありますよ」というようなことは防犯情報メールで流させていただいていたのではないかなと思っています。

警視庁のホームページでも都内の犯罪について「何町でひったくりが何件あります」とか「空き巣が何件あります」というようなことは町単位で公表されているようなので、その辺までは情報として提供していただいてもいいのではないかなと思います。

今の質問は、ちょうど秋津振興自治連合会で防犯活動に関する打ち合わせに東村山警察署の生活安全課の方に来てもらった時に出た質問。その方の回答では、個人の名前についてはプライバシーの問題があるので出せないということで、町と何丁目までの情報はいただいている。秋津は東村山で空き巣が1番多く、11月、12月で20件ぐらい空き巣被害が発生している。先日も警察の方に来ていただいて、チラシを200枚くらいもらって、「気をつけてもらいたい」ということで秋津振興自治連合会に加盟している18自治会で回覧している。「少しの外出でも雨戸を閉める。雨戸を閉められないガラス窓については補助錠をつける、というような対策をしてください」ということで秋津振興自治連合会では空き巣に入られないよう、自治会の皆様に協力をお願いしている。(秋津町 Kさん)

◎ 市長回答 ◎

ありがとうございました。振り込め詐欺については電話なので地域で対応するというのがなかなか難しいところがあるのですが、空き巣は近隣の皆さんが日頃から挨拶し合えるような環境をつくっているとところだとなかなか入り込みづらいという話も聞きますので、ぜひ地域で空き巣に入られないような防犯活動を盛り上げていただけると大変ありがたいなと思いますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

◎ 地域安全課より ◎

市内では、東村山防犯協会、自治会を中心に地域での防犯パトロール、子ども見守り活動に加え、防犯腕章を着け犬の散歩を行う「わんわんパトロール」など多くの市民の皆さまにご協力いただいております。また、市では、警察と連携し、防犯パトロール用の腕章等を貸出しておりますので、地域安全課までご連絡ください。



## ◆リサイクルセンターの見学について

(栄町 Hさん)

10月に「リサイクルセンターを見学させて欲しい」と電話で申し込んだ。その後、粗大ごみの持ち込みをした時に場内を見学させてもらったが、肝心のリサイクルセンターの見学はできなかった。当時の話では「整備があるので見せない」と否定された。その後、来年1月14日の14時からは見せられるということだったので、どういう情報を発信してそうなったのかと聞いたら「それは教えられない」というような市として不明瞭な回答。10月にできあがった設備を見たいと言って、その後、市議会議員だけにご覧になったらしいが一般には公開しないと。その理由を5つも6つも言っていたが「ヘルメットを被ってもらわなきゃいけない」とか単純な回答。ヘルメットぐらい自分で持っていくと言ったら「そういう問題じゃない」というようなことで、この問題を市長はどう思っているのか。それとこれを市報に載せてもらえれば見るので、その辺も今後どうするのか。

### ◎ 市長回答 ◎

リサイクルセンターについてはいろいろご議論いただきましたけれども、おかげさまで今年、竣工しまして、正式には10月1日から本格稼働をさせていただいています。私の記憶では竣工時、また稼働時については秋水園周辺対策の関係の方々を含めて周辺の方にはご覧いただいたのではないかと考えております。

随時、申込みを受け入れて見学会を催している施設ではありませんし、限られた職員体制の中で行っていますので、もし万が一のことがあると、ということで安全配慮等もしなければならないということから、恐らく所管では十分な対応が取れる日にちにさせていただきたいということでご回答させていただいたものというふうに考えております。見ていただいても困るというようなことはあり得ないことですので、今後も随時、受け入れるというのはなかなか難しいところがあるかと思いますが、お申し出があれば日にちの調整はさせていただくにしても、できるだけご案内させていただきたいと考えています。

12月15日号の市報に「秋水園リサイクルセンター見学会の開催」ということで、1月14日の水曜日、午後1時半から1時間程度で行います、ということは掲載させていただいていますので、そちらをご覧いただければと思います。

### ◎ 施設課より ◎

見学の際は、施設の稼働状況をご覧いただくため、可能な限り見学の時間帯に合わせて作業時間の調整を行ったり、安全にご見学いただくために複数の職員が付き添い、ご案内をしております。施設管理の所管と致しましては、見学者の安全に配慮し、十分なご案内ができるよう準備を整えてお迎えしたいと考えております。

今後につきましても、ごみの排出抑制、リサイクルの推進を図るため、リサイクルセンター見学会を継続して開催していきたいと考えております。



## ◆沢の堀の整備について（その1）

（秋津町 Kさん）

沢の堀の水捌けが悪くて、雨が降ると水が溜まる。雨が止んでも沢の堀沿いの住民が菜園をつくってブロックを立てているため、結構水が溜まっている。通学路なので子どもたちが長靴を履いていてもびしょびしょになって帰ってくる。以前のようにところどころに植わっているくらいならいいが、ずっとブロックを立ててしまっているのでは何とかならないか。

### ◎ 市長回答 ◎

沢の堀については先ほど冒頭の挨拶でも申し上げたのですが、数年前に秋津町で行ったタウンミーティングで「遊歩道としてちゃんと整備しなさい」ということを言われまして、まず今の暗渠が安全なのかという調査をさせていただいています。昨年、目視でやったのですが裏側までは見えませんでしたので、暗渠の蓋の中に鉄筋が入っているのですが覗いたところでそれが腐食している箇所もあったりしたので、まずその確認作業を今年やらせていただいて、だいたい年度末くらいにはどんな状況かがわかるかと思えます。

それに併せて境界が不明確な状態なのでそこをまずしっかりさせるということが必要でありますし、遊歩道として活用するとなれば、当然、安全対策・雨水対策をある程度やらなければならないのではないかと思います。ご指摘いただいた箇所を詳しく教えていただいて、そういう沢の堀全体の対応の中で検討させていただければと思っております。よろしくお願いします。

## ◆沢の堀の整備について（その2）

（秋津町 Kさん）

秋水園周辺対策協議会としても沢の堀の環境美化に努めている。沢の堀はだいたい1.5\*くらい。昔は梅岩寺付近が水源とされたが杉林が切られた関係で水が枯渇したということで、残念ながら昔の流れはないが、実際にはちょうど半分以降からは未だに湧水が流れていて、最終的にはよもぎ橋付近の柳瀬川に流入している。泥水が特に農地から沢の堀に入ってきているような問題があるが、近所の方が菜園をきれいにつくっていろいろなものが植わっているので逆に泥水の流入を防ぐような効果もある。お年寄りの方はそこを非常にきれいにしているので、そこにはごみが落ちていないし、楽しみにしていて今後も続けたいと言っているので、今後の沢の堀の環境整備についてはいろいろな意見を聞いて現在の自然環境を保つような方向に持っていけるよう、よろしくお願いしたい。

### ◎ 市長回答 ◎

秋水園周辺対策協議会の皆様で環境美化を行っていただいているということで、まず御礼申し上げます。ありがとうございます。

沢の堀の整備の関係については先ほど申し上げた通りでございますが、沢の堀が現状の暗渠のかたちになってもう30年~40年ぐらい経過するというので「所々に穴が開いていてそこに足がひっかかるので何とかして欲しい」という話から始まったのですが、市としてまずは人が歩いて本当に大丈夫なのかどうか安全確認させていただくということで昨年、目視で調査させていただいたところ、若干、鉄筋に腐食がみられるということで、今年は調査費を取って専門業者に確認作業をさせていただいています。その結果が年度末ぐらいにはわかってくると思いますので、その結果に基づいて安全性が確認されれば、当然、地元の周辺対策協議会をはじめとする自治会の皆さんや周辺の方々のご意

見をいただいて、今後どのような整備をするかということを検討させていただきたいと考えています。よろしく願いいたします。

◎ 道路管理課より ◎

沢の堀におきましては、現在、専門家による調査を行っている最中であり、今後につきましてはその調査結果を基に今後の方向性を検討してまいりたいと考えております。

## ◆東村山の空き家対策について

(青葉町 Tさん)

東村山の空き家対策について市長のお考えを。足立区ではいい方法がたくさん出てきた。東村山では何か取組みを考えているか。

◎ 市長回答 ◎

人口減少と高齢化に伴って、全国で空き家が大きな課題となっております。全国的には空き家が総住宅数のうち13.5%と言われていて、東村山では実態調査をしておりませんでした。昨年、外観からの目視ですが調査をしまして、空き家とみられる戸建て住宅が561軒あるということがわかりました。そのうち94軒が不適正な管理で、近隣の方から市役所に問合せをいただいているケースもございます。市としましては、今後、空き家問題について本腰を入れていきたいと考えていまして、以前は市民部の市民相談・交流課で対応してきたのですが、住環境の問題として捉えていこうということで、今年度から新しく設置しました環境・住宅課で担当するようにしたのですが、足立区や所沢のような条例を設けるまでは至っていないのが現状です。所沢市が全国で初めて空き家に関する条例をつくったのですが、これは空き家を適正に管理されていない方の氏名等を公表するという処罰的なもので、今、自治体関係者の中で話題を集めているのが、文京区の新しい取組みで、空き家となった建物を壊す時に一定の補助金を出して、代わりに区がその跡地を10年間無償で借り受けて、公共の目的に使用する。あるいは使える空き家はNPO等に情報提供し、利用してもらう、といった取組みを始めました。東村山市としましては、こうした先進自治体の事例をみながら、東村山市として取り得る事例を検討していきたいと考えております。

東村山はご高齢の方の独居世帯が多くございまして、その方たちが病院に入ると空き家になります。現在、お一人でお住まいになっている方に将来どうするかを元気うちに考えていただく、といったことも考えておかないと、亡くなった時のことを考えてというのは無理な話かもしれませんが、病気になった時や自分がいなくなった後にどうするか、そういったことを地域課題として考えていただくような啓発をしたり、情報提供したりすることも必要かなと考えています。

それから空き家だけではなくて、火災が発生した家屋が長期に亘って放置されていることが課題となっています。秋津町でも住民の方からご相談をいただいております。東村山市は基本的には住宅都市でありますので、住環境を良くしないと問題になるということで、当市ではまだそれほど大きな顕在化した問題はございませんが、空き家問題が大きな課題とならないようにしていきたいと考えております。

### ◆野良猫対策に補助を

(秋津町 Sさん)

市内で最近、野良猫が増えて困る。そういう対策をする課や係をつくって、相談にのってもらえる窓口が欲しい。動物病院で去勢すると1回8000円から1万円かかるが、これを実費でやっている市民がいる。また、怪我をした時に近所の動物病院では対応できず、レンタカーを借りて遠くまで行って入院させたが、1日の入院費用1万円の他にレンタカーや本人の宿泊代等がかかった。そこまでして野良猫の面倒を見ている人がいるので、市としてそういう相談にのってもらえるようなことを考えて欲しい。

#### ◎ 市長回答 ◎

野良猫の問題については近年、市としても課題として受け止めておりまして、これまでは市民部の市民相談・交流課の市民相談の中で対応してきたんですけども、これまではそこから東京都のほうにお話をつなぐくらいしか対応が取れていなかったわけです。

今回の組織改正で新たに環境安全部の中に環境・住宅課という課を設けまして、いわゆる公害問題から地球環境そして住環境の問題ということで、空き家の問題、それからいわゆるごみ屋敷等の問題、そして野良猫等の問題については今後こちらで対応するというので、相談窓口としては環境・住宅課のほうにお問い合わせいただければというふうに考えております。ただ、具体的には市として独自に地域猫というような場合の避妊手術に対して補助する、というようなことまで考え方として打ち出しているわけではございません。まず実態を把握しながら、どのような対応が取れるかということを検討したいと考えています。

### ◆路上喫煙の防止について

(美住町 Tさん)

駅周辺の歩きタバコの問題だが、子どもが歩いている横で歩きタバコをしているのは大変危ないので、今後、市として厳しくどうかたちでやっていくのかお伺いしたい。

#### ◎ 市長回答 ◎

路上での喫煙については、近年、市民の皆さんからもご意見というか、端的にいうと苦情といったものも「市長への手紙」等で多数いただいております。秋津駅・新秋津駅で市が設置していた喫煙場所についても一時的になんですけども周辺が煙でもうもうとするような状況があって、「いい加減もう撤去して欲しい」と商店会それから自治会の方から指摘をいただいて、市としても喫煙場所としていたところを撤去させていただいたという状況がございます。

その他、久米川駅前等も「喫煙場所として相応しくないのではないか」というご指摘もいただいております。今後そこは課題にしています。

市民の中からは「全市禁止区域にして欲しい」というご意見も市長への手紙などでは寄せられていますが、東村山市内では秋津・新秋津駅間が路上喫煙禁止区域、それから東村山駅・久米川駅周辺も禁止区域ではないのですがそれに準ずる区域という枠をはめていまして、それ以外のところは基本的

には市としては区域に指定しておりません。ただ、全市を禁止区域にしたとしても、市のほうで歩きながらたばこを吸っている方がいた時に、市の職員が巡回して指導するという体制が現状では極めて難しいことから、全市展開にはなかなか至っていないという状況です。今後、市民の皆さんのご理解をいただいて、まずは喫煙される方に路上での喫煙についてはご指摘があったように、お子さん等にとっても危険ですので、そこはもう少しお考えをいただいて、指定された場所以外での喫煙はされないように、当面は啓発が中心ということになりますけれども、そういう取組みをさせていただきたいと考えております。

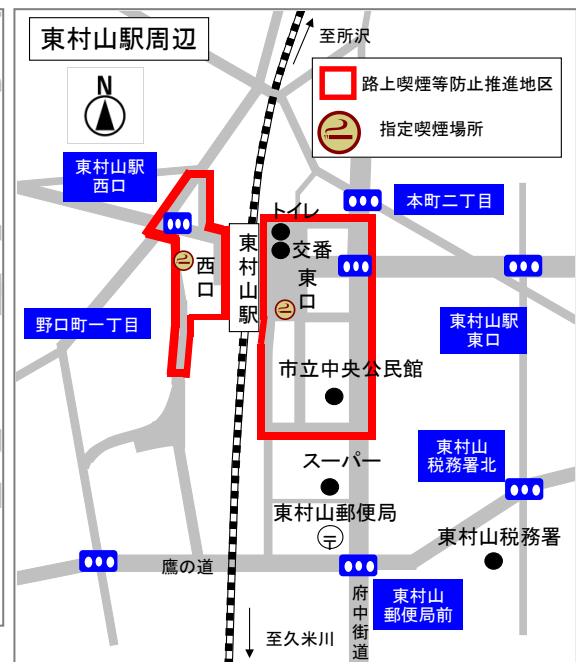
◎ 環境・住宅課より ◎

久米川駅南口喫煙場所について、撤去や移設を求める意見が多く寄せられていることから、関係者と協議し、平成26年12月19日、喫煙場所を移設し、周辺の植え込みに喫煙場所への誘導看板を設置しました。

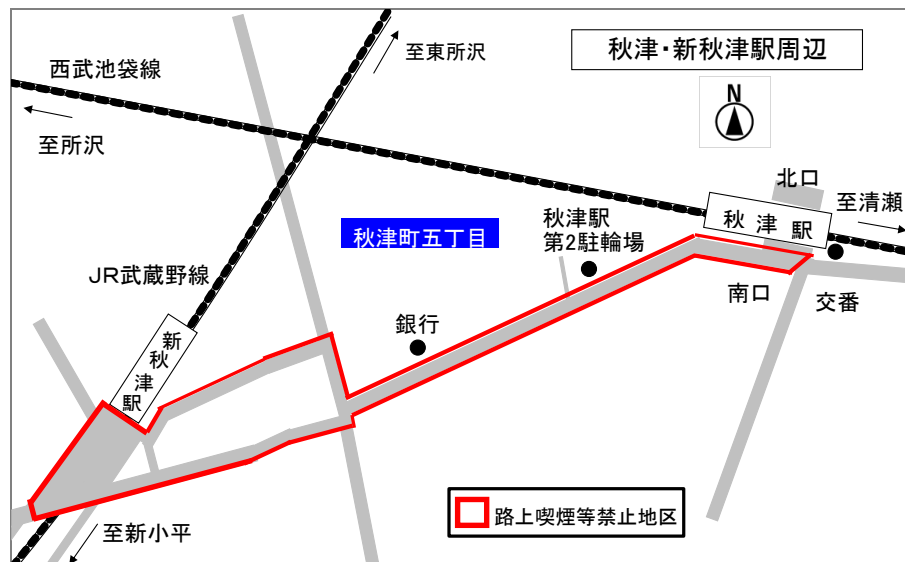
久米川駅周辺の路上喫煙等防止推進地区



東村山駅周辺の路上喫煙等防止推進地区



秋津駅・新秋津駅周辺の路上喫煙等禁止地区



## 【市長まとめ】

長時間に亘りましてお付き合いいただきまして、ありがとうございました。

いろいろご意見をいただきまして、その都度ご回答申し上げたとおりでございます。即答できない、現場を確認させていただかなければならない課題もいくつかございましたので、お約束どおり今後は現場を確認しながら対応させていただきたいと思っております。

それからこのタウンミーティングそのものに対しても今日いろいろご意見をいただきましたので、その点を踏まえてより改善させていただくべく、多くの市民の皆さんからご意見いただいて、それがどうかたちで市政に反映したかということができるだけ見えるようなかたちにしたいなど。そのようなことがこれからの大きな課題ではないかと思ったところでございます。

今年も残すところあと半月あまりということになりました。今年は東村山市が市制施行50周年ということで大きな節目を迎え、10月26日には記念の式典等も行わせていただきました。その際には多くの市民の皆様にもご参加・ご協力いただきましたことに改めて感謝・御礼申し上げたいと思っております。

来年から51年目ということなので、今度は市制施行100周年を見据えてまた歩んでいくということになります。いくつかいただいた課題がありますように、高齢化や人口減少に伴って地域を巡るいろいろな状況の変化もございます。東村山にお住まいになって本当に良かったと思っていただけるように、行政としてできるだけ市民の皆さんの声に真摯に耳を傾けながらがんばってまいりたいというふうに思いますので、明年もぜひ皆様のご指導・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

市民と市長の対話集会  
第86回  
タウンミーティング記録集

発行 平成27年2月  
東村山市役所市民部市民協働課  
東京都東村山市本町1丁目2番地3  
TEL 042(393)5111  
内線 2564・2565